

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年8月17日

コロナ禍でも安心して本を楽しめるように 図書消毒機 全館導入

新生活
様式



2020.8.9静岡新聞（朝刊）

図書消毒機を導入 袋井市内の3館

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、袋井市立図書館は8月から、袋井、浅羽、月見の里学遊館図書館分室の市内3図書館にそれぞれ図書消毒機1台を導入した。

図書消毒機は、本を機械に入れると30秒でページ間の清掃や除菌、消臭・抗菌などができる。最大6冊まで同時に入れることが可能。消毒機は各施設を借りる際にセルフ



これまで返却されてきた本はすべて表紙をアルコール消毒していましたが、来館者がさらに安心して利用できる図書を提供しようと消毒機の導入を決定しました。

コロナ禍で「お家時間」が見直されています。ぜひ、この機会に自分にあった本を探してみてください。



図書館スタッフ談

図書消毒機ってなに？

消毒機のボックスに本を開いた状態で入れると紫外線の照射で殺菌し、送風によってページの間に残ったほこりや髪の毛などを除去します。消臭抗菌剤を循環させることでにおいを取ることもできます。1度に最大6冊まで約30秒で処理が可能。



8月から導入された図書消毒機は、袋井市立袋井図書館

図書館では、コロナ禍でも来館者が安心して本に触れるように返却された本は全て表紙のアルコール消毒を行っている。袋井図書館の野村浩二館長は「消毒機を使えばページの間も清潔になる。安心して図書館を利用してほしい」と話した。